

CONTENTS

9月定例会
決算審査特別委員会

網走厚生病院の脳神経外科整備に

1千2百万円の負担……………2

議員3名が一般質問……………4

① 後藤議員 ② 上地議員

③ 三條議員

決算審査特別委員会を開催……………10

おおぞら
議会だより



11月2日、東藻琴高校生による恒例の「裸神輿」が町内を練り歩き、沿道からは拍手と大きな声援が送られていました。



No.54

OZORA
GIKAI DAYORI

発行日 令和元年(2019年)11月29日

一般会計1億2,534万円追加補正

大空町議会9月定例会は、令和元年度一般会計補正予算などの案など6件、議会側議案6件を審議しました。
また、平成30年度決算認定が提案され、「決算審査特別委員会」

総額89億3,777万円に

補正議案4件、専決処分の承認や条例制定議案で詳細を審議することとしました。

令和元年
9月定例会
9月11日・12日

令和元年度各会計補正予算結果

- 一般会計 1億2,534万7千円追加
- 国民健康保険事業特別会計 31万6千円追加
- 介護保険事業勘定特別会計 22万7千円追加
- 下水道事業特別会計 5万6千円追加

例月出納検査報告
令和元年5月から7月までの各会計の現金の出納状況及び基金の状況について、検査実施結果の報告がありました。

要望意見書
3件の要望意見書について、可決しました。

健全化判断
平成30年度大空町の健全化判断比率及び資金不足比率について、報告がありました。



足並みを揃え頑張る中学生（東中運動会）

教育委員会の活動報告
平成30年度大空町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について、報告がありました。

採択

看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める要望意見書（要旨）

厚生労働省は看護職員の推計と確保策の中で、看護職員の必要数は200万人と試算していますが、「低賃金・過重労働」の実態は依然として改善されず、人員不足を深刻化させ、患者・利用者の安全や看護の質にも影響を及ぼしかねない事態になっております。よって、国においては、次の事項を実現するよう要望する。

- 1 看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心の医療・看護体制を確保するために、全国を適用地域とした看護師の最低賃金（「特定最低賃金」）を新設すること。

採択

介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める要望意見書（要旨）

高齢化が進む中、介護従事者の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題となっておりますが、「低賃金・過重労働」の実態は依然として改善されず、人員不足を深刻化させ、利用者の安全や介護の質にも影響を及ぼしかねない事態になっております。よって、国においては、次の事項を実現するよう要望する。

- 1 介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するために、全国を適用地域とした介護従事者の最低賃金（「特定最低賃金」）を新設すること。

採択

林業・木伐産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書（要旨）

既存の制度や森林環境譲与税を活用し、さらなる森林整備の推進や森林資源の循環利用を進め、林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて、施策の充実・強化を図ることが必要となっております。よって、国においては、次の事項を実現するよう要望する。

- 1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 2 森林整備事業の都道府県・市町村負担金の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。
- 3 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業者や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

★上記3件の要望意見書を全会一致で採択し、国に対して提出しました。

網走厚生病院の脳神経外科整備に1千2百万円の負担

専決処分の承認
令和元年災害における道路橋梁復旧費及び河川復旧費の専決処分が報告され、承認しました。

Q 災害の場所と復旧状況を伺いたい。
三條議員

課長 道路の被災は、山園地区のさけ・ますふ化場付近と東洋地区になります。

復旧状況は、東洋地区は復旧し、山園地区は現在工事を発注しているところです。

河川は、山園地区2河川で河岸が洗掘を受けています。10月に復旧工事を実施します。

損害賠償について

古梅ダム畑地かんがい施設に起因して発生した漏水事故に対する和解及び損害賠償の額について、可決しました。

Q 漏水が発生した状況と、その原因は何か伺いたい。
三條議員

産業課 町道を横断する管の継ぎ手が破損したもので、原因は畑地かんがい施設を使用する際の開け閉めによる振動や、町道を車両が通る際の振動が長年続いて疲労となり、穴が開き漏水したものです。

工事請負契約

ひがしもこと乳酪館大規模改修工事の契約締結について、可決しました。



改修工事は来年3月に完成

条例の制定・一部改正
大空町臨時職員等の勤務条件に関する条例の一部改正、大空町女満別空港活性化基金条例の制定、大空町立幼稚園入園料及び保育料に関する条例等の一部改正について、可決しました。

各会計補正予算

令和元年度一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業勘定特別会計、下水道事業特別会計の4会計の補正予算について審議し、可決しました。

Q 情報発信業務委託料について、発注先と、どのようなことを委託しようとしているのか伺いたい。
三條議員

総務課 U・I・J・ターン移住支援金制度の推進のために、ウェブサイト

等の立ち上げと運営を業務としている広告制作会社に、情報発信に関するサイトの企画立案や、サーバ等の保守管理業務を委託するものです。

Q 網走厚生病院への脳神経外科整備事業負担金について、概要を伺いたい。
三條議員

福祉課 網走脳神経外科病院が手術を取り止めたことから、1市4町で対応を協議し、網走厚生院内に脳神経外科を開設するための初期費用と、その後の体制維持に必要な費用を負担することにしたものです。

整備費用に必要な額は全体で2億2千万円となり、当町はその内の5.5%、1千2百万円の負担となります。

今後の体制維持の負担金については、債務負担行為の補正とさせていただきます。

Q 公有財産の購入について、経過と必要性を伺いたい。
三條議員

課長 芝桜公園の良好な景観の形成を促進し、将来にわたって守り育てていくため、隣接地の北側の土地及び立木を取得するものです。



隣接の山林を取得する芝桜公園

Q 芝桜公園の隣接地の立木は、樹齢的にも伐採期に来ているものがあると思うが、今後どのように整備していくのか伺いたい。
三條議員

課長 カラマツは樹齢が50年以上経過し、伐採期が迫っていることから計画的に伐採と植林を進めていきます。

保証人を2人から1人にする検討を

町長 ▶ その人数も、条例改正の重要なポイント

問 町営住宅の入居状況、65歳以上の入居率と家賃滞納状況について伺いたい。

町長 現在559戸の町営住宅があり、8月末現在で71戸が空き家となっております。改修中の住宅や将来用途廃止を予定している空き家が10戸あり、これを除くと61戸が実質的な空き家で、入居率は89%となっております。

世帯主が65歳以上の入居戸数は207戸、割合は42%です。うち単身の戸数が124戸、25%となっております。

住民課長 町営住宅使用料等滞納状況は、平成30年度当初、28件、44万7千2百円で、収納率は96.8%です。

8月現在で、19件、363万5千円にまで減少している状況です。

問 滞納整理は、どのように行われているのか。

町長 債権管理条例を制定し、副町長をトップとする税等収納率向上対策推進委員会を設置し、滞納整理、収納率の向上に取り組んでいます。

問 現在、適時に町営住宅の補修を行っているようですが、今後、入居率を向上させるために、機能回復であるリフォームや機能向上であるリノベーションを行うなど、高齢者等の方はもちろん、新婚世帯や移住世帯の方からも魅力を感じてもらえる町営住宅であってほしいと思うが。

計画的な用途廃止を進めています。昨年度は、一部の団地で結露対策工事、洋室化工事、断熱追加工事を実施し、現在その効果について検証しています。魅力ある町営住宅を提案していかねばならないと考えていますが、なかなかそこまで至っていないのが現実です。

町長 平成29年3月に町営住宅長寿命化計画をつくり、町営住宅の建て替えや大規模改修、



10月末に完成した中央さくら団地

問 改正民法が、令和2年4月に施行されます。個人根保証契約を締結する場合、これまでは保証額に制限がなかったものが、極度額を定めなければ、その効力が生じなくなることから、町営住宅の保証人制度について、検討する必要があると考えるが。

町長 現時点では、検討に至っておりません。法の趣旨やメリット、デメリット、また、北海道や近隣市町の動向も勘案しながら方向性を定めたいと考えます。

問 今後も保証人制度を継続する場合には、保証人を2人から1人にするなど、新たな入居者の負担を軽減できる方法を模索願いたい。



ごとうしのぶ 議員

12月8日(日)に、道の駅メルヘンの丘めまんべつで開催される「オホーツク豆フェスタ」とても楽しみです!



リフォームとリノベーション

- ・リフォーム……キッチンや浴室の取替え、外壁やサッシの取替えなど、住居の機能を回復するため、改築や改装をすること。
- ・リノベーション……リフォームと比べ、大規模な改修工事を行い、機能を向上させたり、付加価値を与えること。

我が町政を問う 一般質問

9月定例会では、3人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。なお、全文記録(議事録)は、図書館にて閲覧または町議会ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

【後藤 忍】

1. 町営住宅について

【上地 史隆】

1. 大規模停電時の対策について
2. ヒグマの出没について

【三條 幸夫】

1. 家庭問題相談窓口の設置について
2. 職員の健康管理について
3. 大空町文化財の保護について



議会インターネット中継・録画映像のお知らせ

議会の情報公開を進めるため、審議状況をインターネット上でライブ映像、録画映像を配信しています。傍聴に行けない方など、ご家庭のパソコン、スマートフォン、タブレット等でご覧いただけます。

非常用電源の整備と備蓄は

町長 国が目標とする72時間以上の電源を確保する

問 2018年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震をきっかけに、北海道ほぼ全域が連鎖停電するというブラックアウトが発生し、大空町も影響を受け、全域が停電となりました。停電当時、電力が復旧するまでに町はどのように対応したのか。

町長 本町のメール配信は、停電の影響を受けることなく配信ができましたが、ウェブサイトに掲載された発信はできませんでした。役場庁舎では、パソコン、コピー機を使った業務ができず、災害時の情報伝達手段の確保と同時に、最低限必要な行政事務の継続性を確保するために、既設の発電設備とは別に、非常用発電設備を整備する経費を本年度予算に計上し、現在、発注作業を進めているところです。

町長 本町は震度3を観測したこと、午前7時に「災害対策本部」を設置し、現状の把握と災害対応について、情報の共有を図ったところです。

町長 本町は震度3を観測したこと、午前7時に「災害対策本部」を設置し、現状の把握と災害対応について、情報の共有を図ったところです。

総務課長 町の対応としては、停電、水道の利用、学校関係、ガソリンスタンドの開設状況等を住民

向けに10回のメール配信を行いました。また、発電機を水道施設、役場庁舎、避難所などに設置し、役場と総合支所庁舎では携帯電話の充電対応も行ったところ

問 緊急告知ラジオを75歳以上の高齢者世帯を対象に無料配布し、FMあばしりと連携して自動的に緊急時に入るシステムも、情報のツールとして大切と考えましたが、最近では安く、携帯の充電機能やライトが付いたラジオもあります。今後は高齢者の方や低所得者の方には助成をし

町長 ラジオ等を配布するということ考え方には至っておりません。町民の皆さんには是非ラジオを購入いただき、併せてFMあばしりとは、災害時の情報提供発信の協議を進めていきます。

町長 国が目標とする72時間には届いていないということで、役場庁舎側については、給油タンクを2基設置することで、通信・消防設備稼働のための72時間をしっかりと確保したいと考えています。



備えておきたい防災グッズ



うえちふみたか 議員 上地史隆

皆さんは防災グッズを揃えていますか？生死を分ける時間は72時間だそうです。日頃から万が一に備えることは大切ですね。

問 国は、防災中枢機能を果たす病院、行政庁舎、指定避難場所などについて、自家発電設備の整備を図り、十分な期間の発電が可能となるように各自治体に呼び掛けましたが、町の非常用電源は、どれぐらいの能力なのか。また、燃料の備蓄はどうなっているのか。

町長 国が目標とする72時間には届いていないということで、役場庁舎側については、給油タンクを2基設置することで、通信・消防設備稼働のための72時間をしっかりと確保したいと考えています。

町長 東藻琴総合支所につきましては、平成29年度に防災機能強化工事を行い、現在は36時間の通信や消防設備の稼働が可能となっていますが、これも72時間には至っておりませんので、給油タンクを今月中に発注し、対応できるようにしたいと考えています。

問 近年は捕獲圧を緩めたことが原因と考えると、人への警戒心が見られない、人を恐れないヒグマ(問題個体)が出現しています。

そのほか生息頭数も増加傾向にあり、他市町村においては、近年、市街地でも出没情報が寄せられるようになりました。大空町の出没状況や対策はどのようなものか伺いたい。

町長 大空町も出没や目撃情報が増えていく状況です。(下記表) 駆除については、猟友会と連携し、箱わなの設置やパトロールを行なっています。

問 ほかの町でもハンターの高齢化など、なかなか担い手を確保できないという話を聞くと、町の現状はどうなっているのか伺いたい。

町長 東藻琴、女満別の猟友会支部があり、平均年齢は、東藻琴地区が52.5歳、女満別地区は57.8歳です。北海道全体から見れば、高齢化の傾向というものはあるように感じます。そのようなことから、町では、狩猟免許の取得や鉄砲所持の許可に至る費用を助成する制度を設けています。

問 網走市は、知床財団にヒグマの生息頭数の調査を委託しています。DNA分析により、ヒグマの個体を特定、出没ルートの解明を図るのが目的です。また、猟友会や地域住民を対象にした講習会なども企画されています。

町長 網走市内で出没するヒグマのDNA調査を行った結果、東藻琴地区に生息している個体と同じと聞いています。そのため、網走市を通じて知床財団から協力依頼があり、カメラの設置やフンの提供に協力しているところです。

ヒグマの足跡の発見、目撃による町への通報件数等

年度	通報件数	猟友会 出動件数	猟友会 出動人数	駆除頭数
平成27年度	30件	17件	54人	0頭
平成28年度	41件	15件	34人	6頭
平成29年度	61件	16件	29人	8頭
平成30年度	58件	18件	65人	4頭
令和元年度	32件	9件	25人	4頭

(令和元年度の数値は、8月末時点)

ヒグマの生息頭数調査を行わないのか

町長 網走市や知床財団と協議を進めたい

箱わなは、今年度1基購入し、全部で9基となっており、現在6基を設置しています。



ヒグマの通り道に設置された箱わな

網走市は、知床財団にヒグマの生息頭数の調査を委託しています。DNA分析により、ヒグマの個体を特定、出没ルートの解明を図るのが目的です。また、猟友会や地域住民を対象にした講習会なども企画されています。

網走市内で出没するヒグマのDNA調査を行った結果、東藻琴地区に生息している個体と同じと聞いています。そのため、網走市を通じて知床財団から協力依頼があり、カメラの設置やフンの提供に協力しているところです。

家庭問題相談窓口の設置を

町長▶皆で対応できる仕組みを確立する

問 家庭問題相談窓口の設置について、①子どもから高齢者まで、大空町においてのひきこもりの実態は、②ひきこもりや貧困、介護等の家庭の問題に、一括して相談に応じる体制づくりの考えはあるか。

談センター、精神保健福祉センター、社会福祉協議会が相談窓口となつていますが、窓口が複数ありながらも、それをつないで、よりよい方向へ導くことが、まずは大切だと思います。

町が中心となって確認をしていきたいと思えます。窓口は福祉課になろうかと思いますが、いろいろなところにアンテナが張れる仕組み、それを拾い集めて対応できる仕組みを確立してまいります。



町長 ひきこもりは、本人や家族だけで抱えてしまうなど顕在化しにくく、状況把握が難しいものです。ただ、町として全く状況把握ができていないということではなく、ひきこもり状態、類似する状態にあるといわれる情報を3件把握しています。

問 高齢の子どもさんがひきこもりである問題は決して特別なことではなく、身近にそういう方がいれば行政にないでいただく、その仕組みが今はちよつと足りないと思うが。

町長 サインがあったとしても見落とすことなく、関係する方々、その解決に取り組む仕組みを、もう一度関係機関、

職員が健康で安心して働ける環境が必要

町長▶これはと思うことから取り組む

問 職員の健康管理について、①職員の職場環境と健康管理は、②健康を確保するために、ここ数年どのような取り組みをされているのか、③職員に健康で安心して働いてもらうための今後の取り組みは。

27年度に試行し、平成28年度から正式に実施をしています。本年は6月に実施しました。結果として、高ストレスと判断された職員は24人、17.5%で、このことよって、専門医師の面接を受けた職員はおりません。

町長 職員の健康管理のために基本健康診断、総合健康診断等のほか、近年はストレスチェックを実施しており、何か異常があった場合には再健診を受けていただいています。

問 ストレスや病気を防ぐために、職場内で、1人の職員に事務が集中して負担にならないように取り組んでまいります。

時間を要する職員がいたとしても、支え合うような職場になるように努めてまいります。

方がうまくいかないと、結果的に落ち込むことにつながっていくと思えます。

町長 将来的なことを真剣に考え、実行に移すのは職員ですから、大切にしながら行政運営に努めてほしいが。

町長 先日、2人の職員に注意処分を出しました。一体どこに責任があったのか、それを明確にしなければならぬという論調が非常に強くなっています。そのことが心の負担にならないような配慮も必要です。また、職場の中で支え合うという、職員研修も必要だと感じています。

町長 解決の糸口はない中ではあります。何かしなければならぬ問題であることは十分承知しているつもりです。これはと思うようなことを一つ一つ取り組んでまいります。

問 処分後のフォローの仕



新年度の予算編成に取り組む職員

建造物の保護に向けての基準が必要

教育長▶新たな指定基準を策定し、適正な文化財保護にあたる

問 大空町文化財の保護について、①文化財保護の現状は、②大空町文化財保護条例に基づく、文化財保護審議会の取り組み状況は、③基準を設け、指定すべきものが存在すると思すが、教育委員会として把握しているものはあるか、④建造物の保護に向けて指定するための基準が必要と思すが。

町の文化財と価値ある財産の把握の状況については、文化財保護審議会や郷土歴史文化保存会の皆さんとの事業活動等を通じ、町内に潜在する価値ある財産の発見や発掘に努めています。

警長 女満別石刃族遺跡出土の遺物が、有形文化財として北海道から昭和43年に指定され、また、女満別湿生植物群落が、天然記念物として国から昭和47年に指定を受けています。

今後、文化財保護審議会などの意見を伺いながら、新たな指定基準を策定し、適正な文化財保護の事務に当たってまいります。

大空町単独で指定しているのは名木、古木、女満別中央地区に所在する掩体壕を有形文化財として指定しています。

問 建造物で一例を挙げると、駅前JAめまんべつで保有されている石蔵倉庫が、昭和初期に建設され、長年、女満別農業を支えてきた歴史的に貴重な建造物だと思いますが、身近にあるけれど、価値に気がつかないようなことのないように、保存すべきものは滞りなく進めて

文化財保護審議会は現在、学識経験者10名に委嘱し、年1回から2回、必要に応じて開催しており、文化財保護の状況などを把握するため調査研修活動にも取り組んでい



J Aめまんべつが保有する石蔵倉庫

三條幸夫 議員

今回は家庭問題相談窓口、職員の健康、文化財保護の3点を中心に質問させていただきました。町民の皆様の声を出るだけ取り入れさせていただきますので、ご意見をお寄せください。

平成30年度決算

長期的視野に立つ 一般会計82億円・特別会計27億円 ~各会計

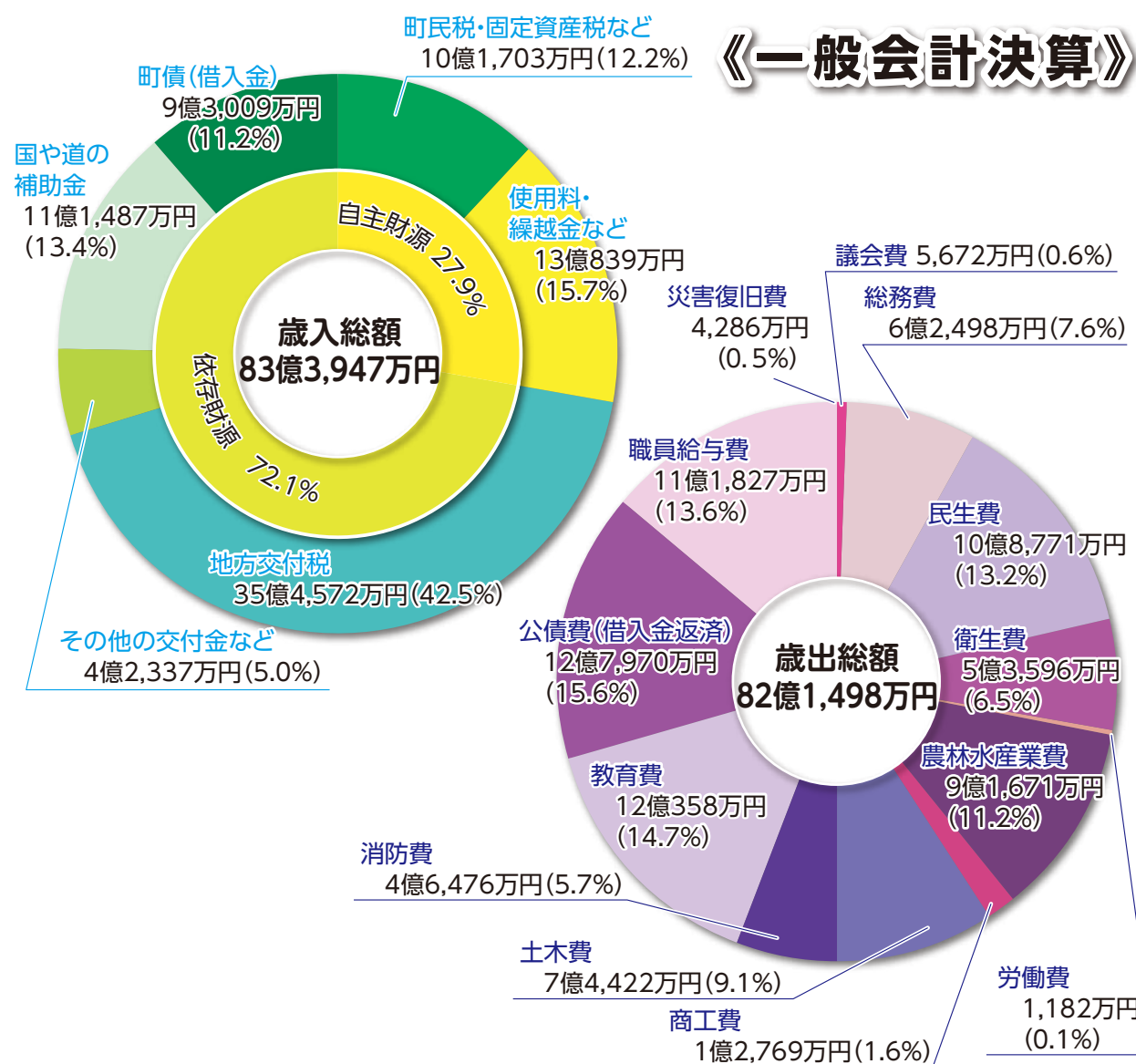
た財政運営を検証 総額109億円の事業の取組みを審議~

平成30年度の決算を認定

平成30年度の一般会計と特別会計を合算した決算額は、歳入111億4,009万円、歳出109億6,541万円で、形式収支は1億7,468万円の黒字となりました。

一般会計の歳入の主なものは、地方交付税や国、道からの補助金など依存財源が全体の72.1%を占め、自主財源である町税や使用料などは27.9%であり、町財政の大半を国や道からのお金に頼っている状況にあります。

歳出では、人件費や公債費、扶助費の義務的経費が全体の34.9%を占め、その中でも公債費は15.6%で増加傾向にあり、健全な町財政維持のため、将来を見据えた長期的で計画的な財政運営が今後とも必要です。



沢出好雄委員長



原本哲己副委員長

9月11日から12日まで開催した第3回定例会で、平成30年度の決算審査は決算審査特別委員会を設置して審査することとし、沢出好雄議員が委員長に、原本哲己議員が副委員長に選任されました。

10月24日には、決算審査特別委員会を開催し、平成30年度の予算執行及び事業運営を審議しました。

すべて原案のとおり認定し、12月定例会で沢出委員長から報告を行います。

平成30年度大空町一般会計・特別会計決算額

会計名	30年度予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引
一般会計	83億5,902万円	83億3,947万円	82億1,498万円	1億2,449万円
特別会計				
国民健康保険事業特別会計	12億4,390万円	12億5,220万円	12億3,643万円	1,577万円
後期高齢者医療特別会計	1億1,399万円	1億1,344万円	1億1,304万円	40万円
介護保険事業勘定特別会計	7億6,820万円	7億6,837万円	7億4,261万円	2,576万円
介護サービス事業勘定特別会計	556万円	508万円	537万円	△29万円
簡易水道事業特別会計	2億9,562万円	2億9,661万円	2億9,192万円	469万円
下水道事業特別会計	3億3,391万円	3億3,509万円	3億3,219万円	290万円
個別排水処理事業特別会計	2,969万円	2,983万円	2,887万円	96万円
一般会計+特別会計 合計	111億4,989万円	111億4,009万円	109億6,541万円	1億7,468万円

※千円以下を四捨五入して表記しています。

各会計決算の質疑応答

★一般会計★

〔歳入〕

ゴルフ場利用税交付金 (324万円)

二條委員 ゴルフ場利用税交付金の内訳は。

住民課長 ゴルフ場利用税の10分の7がゴルフ場の所在する市町村へ交付されるもので、平成30年度は、1万4千3人の利用となっています。

葬斎場使用料 (89万円)

二條委員 葬斎場の利用件数と課題は。

住民福祉課長 平成30年度は88件の利用がありました。

課題として、今後、火葬炉の耐火レンガ等の経年劣化に伴い損傷が予想されることから、早期の点検を実施し整備してまいります。

二條委員 網走市に火葬場を作る際、大空町民

も利用できる広域型で設置したと聞いているが、町長 財源確保のため、広域の施設として整備をしたいと網走市から話があり、大空町民、小清水町民は、網走市民と同じ料金体系で受け入れられています。



平成5年建設の大空町葬斎場

高齢者住宅整備資金返還金 (4万円)

二條委員 この資金は、いつ貸付けされたものなのか。

福祉課参事 高齢者の住居環境を改善するための資金として、平成4年に限度額208万1千円を貸付けしています。現在、少しずつ返還され、33万4千円の残高となっています。

基金利子・配当金 (707万円)

松田委員 基金の運用は、今後、どのように考えていくのか。

会計管理者 基金は、町民からお預かりした大切な公金であり、効率的かつ効果的な運用の一方、確実な運用という命題もあります。どのような形で債券化し、運用していけば良いのか、全庁的な組織等の検討も含め考えたいと思います。

距離感の緩和や災害などのリスク分散志向もあるのかと思います。空港があるという優位性もPRしながら、誘致活動に努めたいと考えます。

網走刑務所住居作業所用地活用事業 (514万円)

二條委員 取り組み内容と支援業務の状況を伺いたい。

総務課参事 コンサル会社と協力し、民間企業へのヒアリングを行い、大空町の潜在的な能力や事業内容に関して、アドバイスをいただきました。現在、法務省や関係各所と連携しながら、どのような事業を行うか検討しています。

患者輸送車運行事業 (329万円)

二條委員 内訳と実績を伺いたい。

住民福祉課長 積算の内訳は、燃料費、修繕費、運搬委託料となっています。年間、延べ1千200

人から1千300人程の利用実績となっています。

農業後継者育成対策事業 (284万円)

二條委員 どうすれば結婚に結び付くのか、全国の事例を参考にしながら、前向きに取り組んでいただきたい。

農業委員会事務局長 プライバシーに関わることもあり、なかなか難しい部分もありますが、先進的な事例も勉強し、取り組みたいと思います。

観光クロスメディア発信事業 (505万円)

二條委員 広報等の事業を展開しているが、その後の事業評価はされているのか。

産業課長 観光情報をインターネットによる発信や、関連雑誌へ広告記事掲載することを主な事業として、ことから、事業評価には難しいものがあります。

情報発信をすることで、多くの方に大空町を知っていただくことが、重要であると考えます。



白く再塗装された東藻琴8号線の街灯

街灯管理費 (2,302万円)

二條委員 街灯は、どういう仕組みでリースをしているのか。

また、街灯の再塗装は、どの箇所を実施したのか伺いたい。

建設課長 民間事業者が事業主となり行った事業で、町は10年間のリース契約を行っています。道の駅から東藻琴消防署に至る東藻琴8号線沿線にある街灯15本の再塗装を実施したものです。

平成30年度末 基金 (=町の貯金) と町債 (=町の借入金) 残高

項目	平成30年度末	平成29年度末	平成28年度末
	町民一人当たり	町民一人当たり	町民一人当たり
基金 (=町の貯金)	54億3,738万円	55億4,455万円	55億5,971万円
	(約76万円/人)	(約76万円/人)	(約75万円/人)
町債 (=町の借入金)	151億5,449万円	154億1,910万円	113億5,057万円
	(約211万円/人)	(約212万円/人)	(約154万円/人)

※注1) 「基金」の額は、運用基金である奨学基金を除いた額、「町債」の額は、一般会計の額

※注2) 町民一人当たりの額は、各年度の3月末現在の人口をもとに算出
⇒平成30年度末人口：7,167人
⇒平成29年度末人口：7,249人

平成30年度の決算における主要な財務分析指標

項目	説明	平成30年度	平成29年度	平成28年度
① 財政力指数 (3か年度平均)	自治体の財政力上の能力を示す指数。1に近いほど財政力が強いと判断される。	0.256	0.248	0.244
② 経常収支比率	経常的に支払わなければならない経費に、経常的に収入できる財源を使っている割合。町の財政の柔軟性を示す指数。70%以内が望ましいとされる。	92.3%	87.5%	84.8%
③ 実質公債費比率	自治体の借入金の返済額の大きさを、その自治体の財政規模に対する割合で表したものの。(早期健全化基準25%以上)	10.7%	10.3%	10.6%
④ 将来負担比率	借入金(地方債)など、現在抱えている負債の大きさを、その自治体の財政規模に対する割合で表したものの。(早期健全化基準350%以上)	算出なし	算出なし	算出なし

※③④の指標が早期健全化基準(イエローカード)を超えると財政の早期健全化に向けた計画の策定が義務付けられ、財政運営上も様々な制約を受けることになります。

監査委員の意見

平成30年度の一般会計歳入歳出決算の状況を見ると、29年度に比べ、歳入は47.7% 76億1,704万円の減、歳出は48.2% 76億3,705万円の減となっており、形式収支は1億2,449万円の黒字となっている。

実質公債費比率、将来負担比率等の計数については、ほぼ横ばいであり、長期計画に基づいた財政運営が行われていることと判断されるが、国の財政出動の効果による事業の増加によるものの影響も多く、また、

財源の多くを依存する地方交付税は、人口減に加え、合併特例期間の段階的縮減により減少していることから、国における地方財政計画を注視するとともに、長期的な視野に立った計画的な財政運営が必要であり、より一層の効率的、効果的な経費負担を図るとともに、町民のニーズを把握し、求められる住民福祉の向上を図る事業の推進によって、町民とともに健全な財政運営を維持することが必要であると考えます。



代表監査委員
近藤克郎氏

教育文化合宿誘致事業 (881万円)

三條委員 合宿における町内のホテル宿泊者数は、どのくらいか。生涯学習課長 7団体、延べ996名に宿泊いただいています。



熱戦となった合宿交流試合 (8月17日)

の視察をするもので、5万円の助成をしています。町長随行研修は、町長が企業訪問、省庁訪問をする際に職員も同行し、現在どのような問題点があるのか、課題があるのかを実際に感じ、自分たちの仕事や、今後の大空町の発展に向けてどう結び付けていけばいいのかが検証するためにしています。

地域産業人材育成事業補助金 (37万円)

上地委員 技能習得に対し、事業主に一部助成をしているが、内容はどのようなものか。産業課長 地域産業の基盤を支える人材の確保、育成を図るため、技術習得に要する費用の一部を支援しています。

地域雇用創出事業 (15万円)

上地委員 通年働く独自システムの調査、検証を行う目的の協議会へ助成をしているが、どのような成果があったのか。産業課長 地域の労働

力を確保、農産物等の加工品の開発、マーケティングの確保といった事業展開を実施しています。その他、体験型観光として、地元資源を活用し、大空町に来ていただく取り組みの検討を進めていくところです。

異業種交流事業 (56万円)

上地委員 参加者が固定化しているという話も聞かれますが、周知はどのように行っているのか。産業課長 各種団体や事業所に参加のお願いをしています。参加者の確保にまついては、今後も新しい方に参加いただけるような取り組みを考えていきたいと思っています。

多目的運動広場管理費 (252万円)

上地委員 昨年度決算より100万円以上増えている理由は。生涯学習課長 少年野球場の照明改修や備品購入により、増額となっています。

古梅地区基幹水利施設管理事業 (7,559万円)

田中委員 リールマシンの修理をしたが、別な箇所が故障して使えないといった事例があるが、この事業で修理できるのか。



リールマシン (大型散水機)

大変重要な役割を担っていただいているが、近年、所属の方が少なくなっているとの報告を受けています。現在、何名の方が所属されているのか。福祉課長 登録会員は、平成30年度は女満別地区、東藻琴地区合わせて63名です。29年度と比較し、18名減少しています。

起業化支援事業補助金 (200万円)

齋藤委員 内容について伺いたい。産業課長 店舗改修の支援をしています。令和元年度からは、店舗改修に加え、設備投資にも支援していくことで、事業の見直しを図っています。

まちゼミ事業 (102万円)

齋藤委員 内容について伺いたい。

★簡易水道会計★

東藻琴地区簡易水道整備事業 (5,442万円)

後藤委員 新規水源調査の進捗状況は。建設課長 調査の結果、流量は目標より若干下回る結果となりましたが、必要水量の予測値が当初よりも半分以下で済むという結論が出ています。

★総括質疑★

職員の作業服について

後藤委員 水害等で住民避難という形になった場合、職員が避難場対応にあたると思うが、町民の皆さんが一目で職員だと分かるような作業服があってもよいのではないかと。総務課長 現在、作業服の統一はしておらず、職員が個々で作業服を用意しています。

東日本大震災復興支援の際には緑色のビブス (ベスト状の衣服) を着用した経過がありますが、どのような方法が良いのかも含めて、検討いたします。

地域連携インターンシップ活用労働力確保事業について

田中委員 学生と受け入れる側の農家のアンケート結果について、報告願いたい。産業課長 学生の皆さんは、北海道の大きな農場で働いてみたいという



結果が待たれる新規水源



大空町版の顔はめパネル

オホーツクについて

田中委員 町のホームページでも画像がアップされていたが、効果はどうだったのか。

職員の給与について

齋藤委員 給与費に不用額が出ているが。総務課長 休職者がいたことや冬季の風雪対応がなかったことにより、不用額が出ています。

地域包括支援センターについて

松田委員 地域包括支援センターは、直営で多種多様な事業に関わっているが、町民のニーズに添えるような介護予防事業体制、事業委託等について考えはあるか。福祉課長 将来的には事業の委託も一つの選択肢として考えられるのではないかと思いますが、今後の介護保険制度や医療保険制度の仕組みの動きなどを見た上で選択し



役場内に設置された地域包括支援センター

予算執行について

深川委員 予算の執行にあたり、予算以上の効果を出すため努力をするよう、職員に指示はされているのか。

町長

私自身もそうですが、職員それぞれ自分たちがやってきた仕事を町民の皆さん方の目線に立って、もう一度、本当に必要なかどうか見極めていかなければならぬと思っています。効果というものをもう一度と私自身も職員ともども見詰め直して取り組んでいきたいと考えています。

議会報告会を開催します! 来年2月8日に議会報告会・意見交換会を開催します。皆さん是非お越しください。2/8 (土) 午後2時 役場1階1号会議室 2/8 (土) 午後6時 フロックス集会室

お詫び 議会だより第53号の町民の声に寄稿いただいた長谷川校長の氏名に誤りがありました。ここに訂正し、お詫びいたします。 誤 長谷川順子さん 正 長谷川純子さん

Voice 声 町民の

つながる笑顔 ひろがる笑顔
生きる力の根っこを
育むこども園



西村 一夫さん
(大空町立女満別幼稚園長)

幼稚園教育に触れ、改めて自分が行ってきた教育の至らなさを反省する時があります。それは、児童生徒に無理やり知識や技能を教え込むという教育の在り方です。幼稚園では身の回りの人や環境と関わらせて幼児に「気付かせる教育」を行っています。何か一つ身に付かせるために、幼児の主体性を尊重しながら、明確な目標と綿密な内容によって日々の保育を丁寧に進めています。

私は職員に、人格の完成の基礎を育むために、的確な幼児理解と個々に寄り添った保育を求めています。

● す。本園は来年秋、建物を移し、認定こども園に移
● 行されます。地域の皆様に信頼される認定こども園
● となるためには、保育教諭の資質と能力の向上が欠
● かせません。そして、園の方針を理解し、職員と共
● に園の充実発展に連携・協力していただける保護者
● が必要です。輝く園は、立派な建物以上に学び続け
● る先生と親の熱い姿が必ず見られます。

● 女満別地区・東藻琴地区それぞれに子どもたちに
● も親や地域住民の皆様にも喜ばれる認定こども園が
● まもなく誕生する予定です。

大空八景

今年の観光シーズンも多くの来場者で賑わった「ひがしもこと乳酪館」(10月1日上地撮影)

建築塗装工事 鉄骨塗装工事
コーキング防水工事
ガーデンハウス プレハブ 受注販売
ガレージ 車庫 受注販売
金属サイディング施工

代表取締役 神内 進一

網走郡大空町女満別本郷188-1
URL: <https://jinnaitosou.com/> e-mail: info@jinnaitosou.com
TEL 0152-74-2400
携帯 090-1526-2856

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

編集後記

今年成立したアイヌの法律をご存知でしょうか。この法律は、アイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現を目的としています。

先日、北海道が応援している「ゴールデンカムイ」という作品を図書館で借りて読みました。明治時代末期の北海道や樺太を舞台に、アイヌの隠された金塊を探索する話です。

当時の人々の暮らし、産業、文化、神話、道内各地も出ており、漫画ながら一つのまにか引き込まれてしまいました。

この作品とまではいきませんが、皆さんに議會を分かりやすく知ってもらえる架け橋になれるよう編集にあたっていききたいと思っています。

(上地)

議會広報常任委員会
私たちが編集しました

議長 近藤哲雄(発行責任者)

委員長 深川 昇

副委員長 上地史隆

委員 田中裕之

委員 三條幸夫

委員 後藤 忍

今後ともよろしくお願いたします。



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議會だより「おおぞら」
第54号

発行/大空町議會
編集/議會広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ <http://www.town.ozora.hokkaido.jp>